

## 共通評価項目(45項目)

## I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針		
	(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者評価結果
	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・b・c
<p>(特に評価が高い点)</p> <p>保育理念として「子ども一人ひとりを大切に、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指す。」ことを明文化し、運営方針6項目を定め、保育目標、児童像・職員像、保育の基本方針を掲げ園内に掲示し来園者や職員に周知している。</p> <p>また、管理者は保護者などには、理念や方針・目標を「インターネット」「パンフレット」や「入園のしおり」「園だより」に分かり易くまとめ配布し、保護者会総会時など折に触れて、説明し周知を図っている。</p> <p>さらに、職員に対しては職員会議や職場内研修で保育理念や保育方針の唱和と保育課程や指導計画書に落とし込み全職員で共有しながら、理念、方針の理解と周知を図っている。</p> <p>(改善が求められる点)</p> <p>一方、法人としての理念が明文化されていないので策定されることが望まれる。</p>		
I-2 経営状況の把握		
	(1) 経営状況の変化等に適切に対応している。	第三者評価結果
	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・b・c
	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・b・c
<p>(特に評価が高い点)</p> <p>法人内の管理者会議が毎月定期的開催され、利用ニーズや利用状況、収支状況について話し合わせ、経営状況など情報が共有されている。</p> <p>また、常勤役員が毎週定例的に来園し、経営環境や福祉ニーズを把握し、管理者と共に村担当課と連携を密にし経営課題等について話し合い、ニーズに即した利用定員増などを図った。</p> <p>(改善が求められる点)</p> <p>定期的に常勤役員や管理者会議などで経営状況について話し合われているが、分析までは至っていない。</p> <p>3カ月毎に税理士の指導を得ているが、経営課題をより具体的に把握し事業計画に反映させるためにも、経営状況などについて定期的に分析することを期待したい。</p>		
I-3 事業計画の策定		
	(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者評価結果
	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c
	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
	(2) 事業計画が適切に策定されている。	第三者評価結果
	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
	② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p>(特に評価が高い点)</p> <p>3年度分にわたり中・長期事業計画が策定されており、この計画により単年度事業計画が策定されている。</p> <p>また、事業計画に基づき保育理念・保育目標が盛り込まれた保育課程を作成し、これらに沿った年間指導計画、月間指導計画、週間計画、個別計画と細部にわたり計画が策定されている。</p> <p>指導計画、事業内容などは、全職員で定期的に評価・見直しを行い家族等に周知、報告されている。</p> <p>(改善が求められる点)</p> <p>中・長期事業計画が策定されているが、全職員参加による計画策定と収支計画を策定していないので策定が望まれる。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組		
(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者評価結果
① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。		a・b・c
② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。		a・b・c
<p>(特に評価が高い点)</p> <p>保育理念・基本方針に沿った保育課程、年間指導計画、週間計画などが月年齢クラス別に策定され、職員会議や各クラス別会議の中で討議されサービスの質の向上に向けた取り組みがなされている。</p> <p>また、月指導計画の策定にあたっては、計画の実施状況、進捗状況、園児の活動状況などを保育目標やねらいを、管理者と共に職員間で共有しながら評価し、月案に反映させている。</p> <p>さらに、園児の個別検討についても、アセスメントシート及び保育個別計画書により、「保育のねらい」「保育士の姿勢と関わりの視点」を明文化し、職員間で検討し情報を共有している。</p>		

## II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ		
(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。		a・b・c
② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。		a・b・c
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		第三者評価結果
① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。		a・b・c
② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。		a・b・c
<p>(特に評価が高い点)</p> <p>管理者として、管理規程並びに事務分掌により明確にされており、職員会議や各種会議において、自らの役割と責任を表明している。</p> <p>また、法人諸規程の理解と保育所保育指針の理解と遵守すべき法令など周知を図り、保育士自己チェックなどで、職員の自己評価を実施しながら、職員を目指すべき職員像や福祉サービスの質の向上を目指し、指導計画や指導目標に対する進行管理や進捗状況の把握と助言を行いながら指導力を発揮し、職員との連携も密にしリーダーシップの発揮とスーパーバイザーとしての役割を果たしている。</p> <p>(改善が求められる点)</p> <p>管理者は、自らの強みや強化点を理解しており、今後は運営全般の課題や改善に向けた取り組みなどを記録に落とし込み、全職員で検討し情報を共有しながら課題解決に取り組むことにより、さらなる指導力が発揮できることが期待できる。</p>		
II-2 福祉人材の確保・育成		
(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。		a・b・c
② 総合的な人事管理が行われている。		a・b・c
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		第三者評価結果
① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。		a・b・c
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		第三者評価結果
① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。		a・b・c
② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。		a・b・c
③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。		a・b・c

(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		第三者評価結果
① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。		a・ <b>b</b> ・c
<p>(特に評価が高い点)</p> <p>一法人多種事業経営の中で、法人として昇任・昇格、給与基準、福利厚生などが整備され、法人として人事管理がされている。</p> <p>法人としての人材の確保指針は具体的に策定されていないが、法人役員と経営状況やコストバランスなど協議しながら、有資格職員の確保を図っている。</p> <p>また、職員育成については職場内・外研修を計画的に実施し、保育園自己評価や保育士の自己評価チェック表で点検・確認をし、職員の今後に向けた、気づきや課題・改善点を管理者と話し合い、職員育成の取り組みがされている。</p> <p>さらに、「実習生受け入れマニュアル」により、実習方針や意義を明確にし、実習指導担当者に研修を受講させて体制整備を図り、次代の専門職育成に取り組んでいる。</p>		
<p>(改善が求められる点)</p> <p>法人・保育所の研修計画が策定されているが、人材育成や職員研修指針が策定されていないので策定して欲しい。また、これらから職員教育・研修の基本的な考えを明確にし、研修成果の評価や分析を行い、その結果を踏まえ研修計画に反映するよう期待したい。さらに、研修受講履歴を把握するための「職員教育・履歴カード」などの整備が望まれる。</p> <p>実習生等の受け入れを行い、福祉サービスに関わる専門職の教育・育成に取り組んでおり、保護者等にも周知されているが、「実習受け入れマニュアル」などを、さらに見直しと専門職種の特性に配慮したプログラム策定が望まれる。</p>		
II-3 運営の透明性の確保		
(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者評価結果
① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。		<b>a</b> ・b・c
② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。		<b>a</b> ・b・c
<p>(特に評価が高い点)</p> <p>事業運営や取り組み状況等はホームページやパンフレット、広報紙等で自由に閲覧できるよう取り組んでおり、事業計画や事業報告、財務状況など活動全般について広報紙で村内全戸に配布し情報公開し透明性の確保に努めている。</p> <p>また、管理規程・経理規程、事務分掌により職務権限や責任が職員に全体周知されており、税理士の指導を受け、法人監査により事業運営の透明性が確保されている。</p>		
II-4 地域との交流、地域貢献		
(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者評価結果
① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。		<b>a</b> ・b・c
② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。		<b>a</b> ・b・c
(2) 関係機関との連携が確保されている。		第三者評価結果
① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。		<b>a</b> ・b・c
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者評価結果
① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。		<b>a</b> ・b・c
② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。		<b>a</b> ・b・c

(特に評価が高い点)

園児と地域との交流を広げるための取り組みは、世代間交流として、デイサービス施設の訪問、団子さし、餅つき、お茶会などの行事を通して地域の人々との交流の機会を設けている。

また、ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明文化し、社会資源を明示したリストや資料が作成され、近隣にある児童館「つどいの広場」の児童たちに、保育園の遊戯室などを開放し、機能を地域に還元し、中学生の保育体験学習などを受け入れている。

さらに、関係機関・団体との連携や民生・児童委員との情報交換などにより、地域のニーズを把握し、公益的な事業・活動を行っている。

### III 適切な福祉サービスの実施

#### III-1 利用者本位の福祉サービス

(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	第三者評価結果
① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	Ⓐ・b・c
(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。	第三者評価結果
① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	Ⓐ・b・c
② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	Ⓐ・b・c
③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・b・c
(3) 利用者満足の向上に努めている。	第三者評価結果
① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	Ⓐ・b・c
(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	第三者評価結果
① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	Ⓐ・b・c
② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	Ⓐ・b・c
③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・Ⓑ・c
(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	第三者評価結果
① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・Ⓑ・c
② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	Ⓐ・b・c
③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	Ⓐ・b・c

(特に評価が高い点)

理念や基本方針に、利用者を尊重した福祉サービスの実施について明示し、「プライバシー保護マニュアル」「個人情報保護マニュアル」が整備され、園内研修で職員に周知されている。

福祉サービスの選択に必要な情報は、保育園の広報や園だより、ホームページなどで実施する福祉サービスの内容や特性等を紹介している。

また、サービスの開始・変更については、「入園のしおり」により分かりやすく説明し退園後も相談を受ける窓口を設置し、一時保育等の内容を記載した文書を保護者に渡して啓蒙に努めている。

苦情解決の取り組みは、個別懇談会を年2回実施し、クラス懇談会を参観日に実施し、また年4回アンケート調査を行い、苦情解決の仕組みを確立し、保護者に対しては「福祉サービスに関する要望等解決」という言葉で、申し出しやすい環境を工夫しており、「入園のしおり」や「園だより」で、意見や要望を寄せていただくよう案内し、玄関に意見記入用紙と投書箱を設置している。

「保健関係マニュアル」、「感染症対策マニュアル」が整備され、看護師を中心に定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催し啓蒙に努めている。

防災関係の取り組みは、「火災時避難訓練マニュアル」に基づき、毎月避難訓練を行い、「震災時における協力機関」を明示したり、食料や備品等のリストも作成している。

また、防犯訓練計画により、毎月不審者に対する注意力を養い、危険回避の啓蒙を図っている。

(改善が求められる点)

苦情解決の仕組みで、相談や意見を受けた際の報告の手順等を定めたマニュアルがあるが、なお、迅速な対応の取り組みができるよう期待したい。

リスクマネジメントにおける事故発生後の対応と安全確保について、マニュアルが整備され、安全点検表等により細部にわたり点検個所が明示され、ヒヤリハットにより再発防止に努めているが、リスクマネジメント委員会を設置するなどにより、職員の参画のもとで、発生要因を分析し、改善策、発生防止等を検討・実施する等の取り組みを期待する。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保		
(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。		a・ <b>b</b> ・c
② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。		a・ <b>b</b> ・c
(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		第三者評価結果
① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービスの実施計画を適切に策定している。		a・ <b>b</b> ・c
② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。		a・ <b>b</b> ・c
(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		第三者評価結果
① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有されている。		a・ <b>b</b> ・c
② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。		a・ <b>b</b> ・c
<p>(改善が求められる点)</p> <p>福祉サービスの標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じることを期待する。</p> <p>標準的な実施方法の検証・見直しにあたり、個別的な福祉サービスの実施計画の内容が必要に応じて反映されていることが期待される。</p> <p>「児童票」、「月別計画」、「個別計画」等において福祉サービスの実施計画が策定されているが、重複している部分も多く、それぞれ何を記載するかを明確にすることにより、効率よく目的を発揮できるよう取り組むことが望まれる</p> <p>また、サービス実施計画にもとづくサービスが実施されていることを、記録により確認しやすいようにする取り組みを期待する。</p>		